

ミサワホーム株式会社

(MISAWA HOMES CO., LTD.)

会社名

ミサワホーム株式会社

URL

<http://www.misawa.co.jp>

業種

建設業

事業範囲

- 建物及び構築物の部材の製造及び販売
- 建築、土木、外構、造園その他工事の設計、請負、施工及び監理
- 不動産の売買、交換、賃貸、仲介、管理及び鑑定
- 建設資材、建設設備機器、建設機械装置、家具及び室内装飾品の設計、製造、施工、販売、賃貸及び輸出入
- 高齢者向集合住宅施設の経営並びに当該施設の利用権の販売及び仲介

- 介護保険による居宅介護業務他、介護業務関係
- 上記事業に関する調査、研究、技術開発、教育及びコンサルタント業務 他

お客様のニーズ

- 低遅延・広帯域のネットワーク
- 回線切替時における技術面の充実したサポート
- 冗長構成による高い可用性
- 高いコストパフォーマンス



ミサワホーム株式会社
情報システム部 システム企画課
参事
森島 浩之氏

Coltにバックボーンの異なる回線サービスを組み合わせた完全冗長構成を提供いただき、TCOを大幅に削減しつつ安定したクラウド接続環境およびオフィス間の通信環境を実現しました。Coltネットワークの品質はもちろん、高い技術力によりIT環境構築をトータルでサポートいただいたことに大変満足しています。



ソリューション

Colt Dedicated Cloud AccessおよびColt Ethernet VPNのネットワークサービス導入により、キャリア冗長と同等の高い可用性のIT環境を実現

課題

ミサワホーム株式会社は、「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、50年以上にわたり、住宅業界のパイオニアとして良質の「住まい」を提供し、豊かな社会づくりに貢献する住宅メーカーだ。戸建住宅の建設に加え、マンション・ビル・ホテルなどのリフォームや、賃貸住宅をはじめとした土地活用提案、医療・介護・保育などの複数の機能を盛り込んだコンパクトシティ型の不動産開発など、住まいを中心に多岐にわたる施設建設を展開している。

同社は会計システムや基幹システム、社内ファイルサーバー等の各種システムを300台の物理サーバーで維持していた。

インターネット経由の接続はセキュリティに対する不安もあり、クラウド移行に踏み切れずにいたが、2012年、専用線によるクラウド接続サービス「AWS Direct Connect」の開始に伴い、AWSへの移行を決めた。システムを物理サーバーからAWS上へ移行することで、ハードウェアの維持および

管理の負担が軽減した上、従来約6時間かかっていたサーバー復旧作業がわずか30分にまで短縮した。「AWSに移行したことでハードウェアを意識する必要がなくなり、本来の業務に集中することができるようになりました」と森島氏は語る。

Coltをお選びいただいた理由

複数のプロバイダーを比較、検討していく中で、同社は既存のバックアップ回線の帯域を10倍に増やしながら、運用コスト半減できるColtの採用を決めた。

ColtはAWS接続用ネットワークとして、「Colt Dedicated Cloud Access」を提案した。メイン回線にはオプティカル専用線サービス「Colt Wave」を、バックアップ回線にはイーサネット専用線サービス「Colt Ethernet Line」を提供することにより、バックボーンの異なる回線を組み合わせる冗長構成を実現した。Windows Update配信に伴うWSUSサーバーのトラフィック集中によりメイン回線の応答性能が低下する問題に対し、バックアップ回線を迂回用通信経路として利用することで



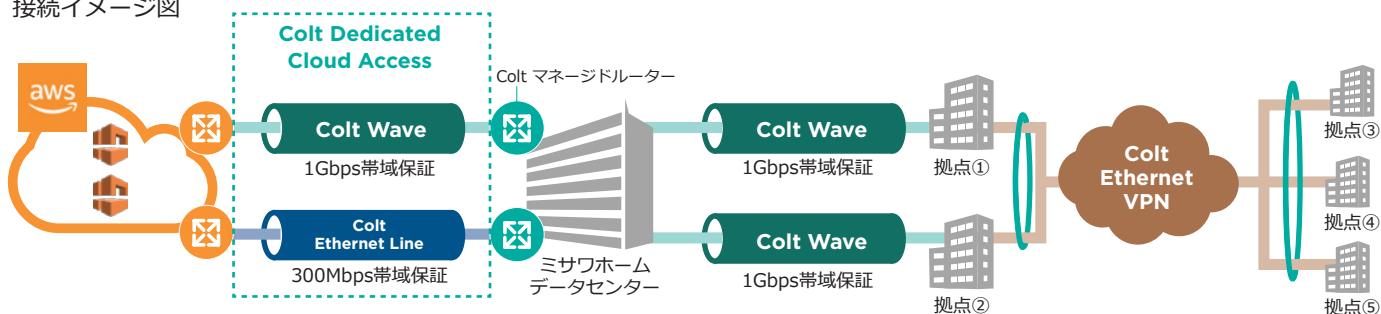


帯域圧迫を回避した。「金融業界での豊富な提供実績やSLAに裏付けられた信頼性はもちろんですが、採用の決め手となったのはColtの高い技術力です。我々の要望や課題に対して的確かつ迅速に回答いただけたことで、最適なネットワーク環境を設計することができました」と森島氏は語る。

また、同社はクラウド接続に加えて、グループ拠点間の社内ネットワークとしてColt Ethernet VPNを採用している。同サービスは

障害発生時にはわずか50ms以内で網内回線が自動で切替わるため、万全の運用体制を実現可能だ。「Coltの各種サービスによりIT環境を見直したことで、年間約2,000万円以上のTCO削減が実現しました。契約はColtに一本化しながら、バックボーンの異なる回線を組み合わせることでキャリア冗長と同等の可用性を実現できたことにも大変満足しています」と森島氏は述べた。

接続イメージ図



■ 今後の展望

同社は今後の事業拡大に備え、現在HaaS上で運用している約160台の物理サーバーも一部を残してすべてクラウドへ移行することを検討している。将来的には約500台のサーバーをAWS上で運用することになるため、安定して稼働するIT環境が不可欠だ。「通常なら専用線は導入や増減速に時間を要するものですが、Coltは自社ファイバーを所有する通信事業者で、既存回線の増速であれば短期期で対応いただけます。

今後クラウド利用の拡大が予測されるため、拡張性の観点からも高く評価しています」と森島氏は述べる。

さらに、同社はオーストラリアや北米エリアなどグローバルでの展開にも注力しており、さらなるITインフラ拡大が見込んでいる。「Coltには引き続き高品質な広帯域ネットワークと高い技術力を活かして国内、国際問わず、ミサワホームグループのサービス運用をサポート頂ければと思います」と森島氏は語った。



- Website www.colt.net/ja
- Twitter [@Colt_Asia_JP](https://twitter.com/Colt_Asia_JP)
- YouTube [Colt Technology Services - Asia](#)

詳細はこちらからお問い合わせください。
www.colt.net/ja/contact

